



ブンブンは今日も行く！

通信

No.2 2013年8月
発行 **はちみつ會**

ホームページ <http://hachimitsukai.jimdo.com/>
寄付金振込先：ゆうちょ銀行
ゆうちょ銀行から 00150-8-711082
他行から 〇一九支店 当座 0711082
いずれも口座名義：ハチミツカイ

◆7/6(土)~7(日)、秋のツアーのお知らせを届けに、福島に行ってきました！

浪江町役場 復興支援員の 菅野さんと お会いしました

◆福島に着いた日は、川俣町にお住まいの、浪江町役場復興支援員の菅野孝明さんにお会いし、川俣町と浪江町の現状から、2つの行政の姿勢を教えてくださいました。避難区域ではないけれどそこから近い川俣町では、



菅野さんのご自宅でお話を聞きました。

行政が多様な選択肢を提供することが大切になること。避難を余儀なくされている浪江町の方に対しては、時間をかけながら復興支援のプランを共有し、今までのようにできあがってから提示するのではなく、作成中から住民の意見を聞いて、共に作り上げていくこと。

◆自治体の説明に対して質問をする住民、といった風景からは、行政に対して難しさばかりイメージしていましたが、新しいものを多くの人と作り上げようとする、現場に立つ人ならではのやりがいも、お話を伺って強く感じました。

◆もう一つ。リフレッシュツアーを「原発事故の被害から子どもを守る目的で参加する人」と「子どもをただ預ける感覚で利用する人」がいることを、どう考えるか」と問われました。問題は保護者にあるのではなく、被ばくから子どもや人を守りたいからこそ、この活動をしていることや、原発事故に対し、私たち自身が当事者意識を持って関わっているのか、等の意見を交わしたのですが、ボランティアとしてのはちみつ会の在り方、姿勢を考えさせられました。それは、菅野さんの話された「自立支援」にもつながることなのでしょう。自分の気持ちがシャンとした問いかけでした。



お母さんたちと弁当を食べながらお話し。子どもたちはお絵かきや折り紙、シールで遊びました。

◆5月の「森あそび」ツアーに福島から参加された親子の方々と再会しました。次回のチラシをお渡しすることが名目でしたが、ほんとは、会いたいな、みんな元気であるかなと、気分は同窓会。そうはいつても、どのぐらい来てくれるかな、と不安もあったのですが…。

5月GWの ツアー参加者と 再会！

◆8組の親子が参加してくださり、子どもたちも、わいわいにぎやか！楽しそう。大人の方からは、各地の保養キャンプのチラシを渡され、「多少のお金を取る所もあるけど、こんないい

ところもあるよ〜」「この夏休みは4回行こうかと思う」という声もお聞きし、改めて、リフレッシュツアーの需要の多さと、二年目に入り、ツアーの多様性も感じました。そんな中ではちみつ会が提供できる保養ってなんだろう…一緒に作っていかうという姿勢かしらん。

◆ともあれ、学校のプールの指導の話も出たり、恋話も出たりと、ほんとに楽しい時間を過ごせたこと、とてもありがたかったです。場所のセッティングもお弁当も手配してくださり、「ここは、はちみつ会の福島支部」の声に（そのうち本部になりそう…）という頼もしいお言葉も頂いて、また9月には元気な笑顔で皆さんをお迎えしたいなとおもいつつ、夜もふけていきました。

仮設住宅で お話を 伺いました

◆翌日は、二本松市で一番大きな安達仮設住宅を訪問しました。運動場にプレハブの仮設住宅が 200 ほどあり、浪江町から避難された 500 名ほどの方が生活しています。自治会長の本田さんはじめ、8名ほどの方々に集会場でお話を伺いました。

◆震災後しばらくは現実的なことが大変で考える余裕もなかったが、ある程度おちついた現在の方が、これからの方向性が見えず精神的につらいとおっしゃっていました。ここにたどり着くまで、多くの方が、7~8回も避難先を移動されたそうです。かつては三世代で暮らされていた家族もばらばらになり、高齢者が多く、独居の方も。同じ町といっても、ほとんど震災後に初めて会った人ばかりで、心を閉ざしてこもってしまう人も多いそうです。

◆以前住んでいた家は動物の糞だらけで荒れており、とても住めたものではないとのこと。たまに行って片付けが終わると、「家に帰ろう」と言ってしまうそう。「もうこっちの仮設が『家』になっちゃった」と苦笑いされていました。その住めない家のローンも払わなければいけない現実があります。

◆子どもは 70 人ぐらいいて、二本松市内にある仮の浪江町の学校に、ばらばらに通っています。遊び場がなく、ボール遊びをしても植木を倒して怒られたり、家の中でも音が響くので騒ぐと怒られ、子どもたちのストレスもかなりたまっています。できれば子どもたちを外に連れ出して遊ばせてほしいとのことでした。

◆自治会長の本田さんが、「みんな心の傷を負っている。これは人災、人権侵害だよ」とおっしゃった言葉が、胸に深くくいこみました。本田さんは、はちみつ会のチラシや写真を嬉しそうに眺めていらっしゃいました。「俺も行ってえなあ、こういうつかの間の喜びがいいんだよ」。深く刻まれたしわの奥に、笑顔が浮かんでいました。

◆印象に残っているのは、仮設住宅に住んでいる子どもたちの憩いの場がないことです。駐車場には車が停まっており、子どもたちが自由に使えるスペースは、通路部分しかありません。場所があれば、子どもたちも周囲に気を遣ったりせずに思い切り遊べます。あらためて、遊ぶ機会やスペースをつくっていく必要を実感しました。



このあと、二本松市に移転して営業されている「浪江やきそば」の3人前大食い大会に木暮くんがチャレンジ！見事完食しました。

◆9/14(土)・15(日)・16(月・祝)《福島親子・町田の森あそびツアー》第2弾！ ボランティア(保育・食事・搬出入など) & 寄付金のご協力をお願いします！

大地沢青少年センターにて、「福島親子・町田の森あそびツアー第2弾～月とうさぎがかくれんぼ・小さな秋みいつけた♪」を開催します。福島から 40 名の親子が参加します。保育・食事・搬出入などを担ってくださるボランティアを募集しています。何かしたい、一緒に楽しみたい、という気持ちがあればどなたでも大丈夫。お待ちしております。また、ツアー開催を支える寄付もお願いしています。ご協力をよろしくお願いいたします。



◆8/24(土)14~17時 ボランティア説明会 場所：まちだ中央公民館和室(町田駅前)
9月ツアーのボランティアの内容などをご説明し、交流します。どなたもお気軽にご参加ください。5月ツアー時の記録ビデオも上映。お楽しみに♪ *ボランティア希望で説明会に参加できない方もお知らせください。

[問合せ・申込先] TEL080-8898-7860 (やぎ) E-mail hachimitsukai@yahoo.co.jp